

飯山市下水道事業経営戦略（概要）

～将来にわたって安定的に事業を継続していくための「中長期的な経営の基本計画」～

1. 策定の目的

下水道事業経営戦略は平成28年（2016年）に策定され、9年が経過しました。この間に、人口減少や施設の老朽化が進行し、経営環境は大きく変化しています。さらに、令和6年度からの企業会計方式への移行に伴い、資産・負債の適切な管理、減価償却費の導入、財務分析の高度化が求められることになったことから、戦略の見直しが必要になりました。

2. 計画期間

令和7年度（2025年度）～令和16年度（2034年度）

3. 下水道事業の現状

●課題 汚水処理に多額な費用を要しており、使用料で経費を賄えていない状態

【経費回収率】 下水道使用料／汚水処理費×100（％）

年度	H30	R1	R2	R3	R4
4事業合計	93.79%	104.62%	96.17%	96.45%	89.78%

4事業＝公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水事業・特定地域生活排水処理事業（公設浄化槽）

●経営状況

将来の経営状況の悪化が予想される（以下の理由から）

- ・公営企業会計に移行したことによる減価償却費の計上（令和6年度～）
- ・物価上昇による経費の上昇
- ・将来の下水道施設の更新、長寿命化対策の経費の増加

4. 経営目標

① 収益的収支の黒字化（計画期間内）

② 利益剰余金の確保

将来の施設整備などへの投資に備えて適正な利益剰余金を確保

③ 経費回収率80％（計画最終年度）の達成

水道料金等審議会の答申（使用料改定）を受け実現可能な目標設定

5. 経営目標に向けた取り組み

(1) 収入増加の取組

① 使用料の見直し

令和7年度改定

3～5年毎に検証

② 下水道接続率の向上

未接続世帯への啓発

他

(2) 支出削減の取組

① 農業集落排水事業の維持管理費の縮小

瑞穂・北瑞地区の木島平村下水道事業への編入

羽広山・照岡地区の戸別合併処理浄化槽への切替

② 動力費の削減

施設の機器運転時間の見直し、施設規模の縮小

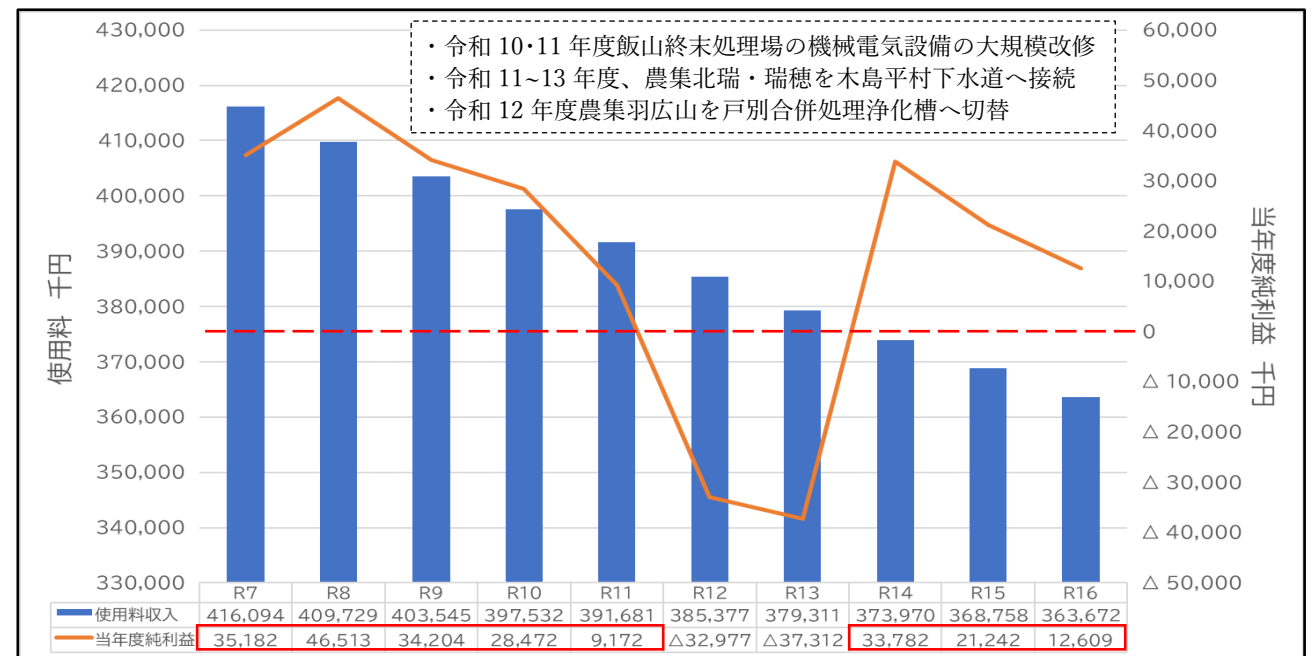
③ 不明水対策

④ 施設整備計画の見直しとストックマネジメント計画による施設改築更新の平準化

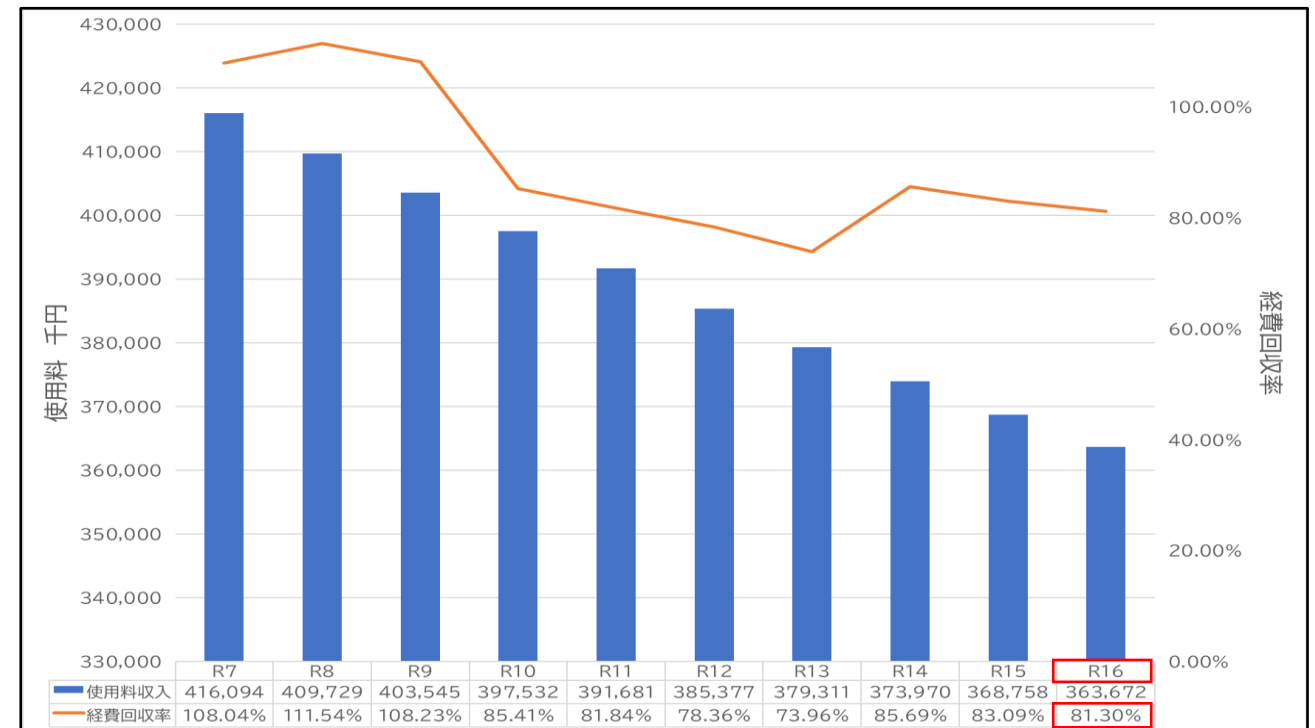
他

現状予測に基づく今後10年間の投資・財政計画と経費回収率の推移

■使用料収入・当年度純利益の推移（令和7年度使用料改定後）（単位：千円）（税抜）



■使用料収入・経費回収率の推移（単位：千円）（税抜）



<用語解説>

収益的収支	一事業年度の企業の経営活動に伴い発生する全ての収益とそれに対応する全ての費用
利益剰余金	過去の損益取引から生じた利益を積み立てたもの
経費回収率	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。
ストックマネジメント	下水道施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予測しながら、計画的かつ効率的に管理すること
汚水処理費	汚水にかかる維持管理費と資本費（企業債等利息及び減価償却費）